

西穂落雷事故 冥福祈る

昭和42年に
生徒11人犠牲 深志高慰霊碑前で追悼式

昭和42(1967) 年

た。の霊を慰めた。

年に北アルプス・西穂 高岳を集団で登山して いた松本深志高校2年 生が独標で落雷に遭 い、生徒11人が亡くな った遭難事故は1日、 発生から58年を迎え た。同校で追悼式があ り、遺族や同期生のほ か、現役高校生など約 100人が参列し、犠 牲者を悼むとともに、 事故の再発防止を誓っ

た。 事故があつた午後1 時40分に合わせ、独標 の方角に向き、黙とう をささげた。倉田慎司 校長が追悼の辞を述べ 「歳月が流れても、こ の悲しい出来事は決して忘れてはならない」と 教訓を次世代に受け 継ぐ決意を語った。参 列者は慰霊碑前に設け られた献花台に向かっ て手を合わせ、犠牲者

の靈を慰めた。 登山に同行し、自ら も落雷に遭つた田中哲 三さん(74) 金沢市 〓は「事故があつたこ とを理解したのは退院 後だった」と当時を振 り返り、「風化させず 事故を語り継いでほし い」と願った。



慰霊碑に向かって手を合わせる参列者

女子バスケットボー ル部は12人が参列し た。福田彩乃さん(1 年)は「58年というと 遠く感じるが、先輩が 遭つた事故で身近に感 じら」と話し、「後に いた。(久保田貴大)